

領土の画定と隣接地域

北海道

政府はロシアとの関係上、蝦夷地を **北海道** と改め、**開拓使** という役所を置きました。

開拓使は、炭鉱を開採し、アメリカ式の農業技術を取り入れ、大規模農場を開拓しました。
また、**札幌農学校** を開いて農業の改良をはかりました。

そして、北海道外からの移住政策を進め、土地を耕しながら兵士の役割も果たす **屯田兵** を配置し、これに失業した **士族** があてられた。

一方、開拓が進むにつれ、先住民である **アイヌ** の人々は、土地や仕事が奪われた上に、伝統的な風習も禁止されました。

樺太 (サハリン)

は、日露和親条約 で、日本人とロシア人が混在する雑居地として、どちらの国の領土かは不明確にされていました。



1875年、ロシアと『**樺太・千島交換条約**』を締結し、ロシアに樺太の所有を認めるかわりに、千島列島のすべてを日本領とすることで、両国の国境を確定させました。